

情報・通信

企業のデジタル変革支援加速

レッドハット

オープンソース活用

国内での協業進み
基盤で成果も

レッドハットはオープンソース技術を活用し、企業のデジタルトランスフォーメーション(デジタル変革)の支援を加速する。デジタル化に向けた国内ICT企業との協業が進むとともに、レッドハットの基盤を活用し成果を挙げた事例も出てきた。来日した米レッドハットのジム・ホワイト、ハースト社長兼CEOは、「社では、パートナーと顧客と協力し協業をしていく」と述べた。

17年度(16年3月～17年2月)はコンテナ(※)と呼ばれる技術を中心としたクラウド環境の普及に加え、開発と運用を一体で進めていくDevOps(デブオプス)によるITの自動化支援を強化。主力のマルチテナント型クラウド基盤「オープンスタック」とコンテナ技術の核となる「オープンシフト」を推進している。

ホワイトハースト社長



ホワイトハースト社長

6～8月売上2割増
業績も好調で、グローバルの18年度第2四半期(17年6～8月)は増収となり、62・四半期連続で伸長。売上げ総額は年初来、前年同期比20%増



コーミア上級副社長

※コンテナ 1台のコンピュータ上に複数の仮想システムを構築しOS上に動作環境をつくる技術。より少ないコンピュータリソースで仮想動作環境を運用できる。

特にデジタル変革の時代のICTに関してはLinux運用するにはLinuxによる共通基盤が必要で安全に複数のシステムを管理できなければならぬ。コンテナがハイブリッドの世界で重要になり、ベンダーやシステムにロックインしない環境を提供していく」とコーミア上級副社長、これら

を提供することが市場変革に柔軟に対応できる企業のデジタル変革が実現するとみる。

今年度推進しているデジタル変革の事例も増えてきた。同社が20日に東京都内で開催したフォーラムにおいて、オープンスタックを活用しIT環境を最適化したNTTドコモと情報通信研究機構(NICT)の2社がイノベーションアワードPACを受賞した。

コンテナで省力化
コンテナ技術を使ったレッドハットコンテナプラットフォームの採用では、ソフトバンクやイス

マートテクノロジーズ(愛知県碧南市)が省力化と効率化を実現した。他社協業ではNTTデータとEMCジャパンと協業し、既存IT資産のデジタル化を実現するサービスを行って、三菱総研DCSとはクラウド連携を図り、IT自動化ツール「ANSIBLE(アンシブル)」を管理する「アンシブルタワー」のクラウド提供を始めた。

ホワイトハースト社長は「テクノロジだけでなく、文化やプロセスを一体としてみていく必要がある。1社だけでなく取り組むのではなくパートナーと顧客と協力し、コミュニティを提供しながら構築していく」と見通しを示した。